

かしわら芸術祭 2023

第10回 柏原ビエンナーレ

Anyアート：いつでも どこでも だれでもアート

目次

- 1 挨拶
- 2 Highlight 編
 - ・川Narra
 - ・Anyアート・参加型アートなど
 - ・Art コミュニティ、ハッピー連携
- 8 記録編
 - ・会場一覧：会場地図
 - ・会場別出展参加
- 20 資料編
 - ・2023 取り組み：Anyアートの活動、広報
 - ・2023 取り組み：あゆみ、組織、ワークショップ、募集要項
 - ・2023 取り組み：事業概要、総括案、事業費決算見込み
 - ・2023 取り組み：協賛、協力・サポーター
 - ・柏原ビエンナーレ10回までのあゆみ

今回の芸術祭は、豊かな自然に囲まれ歴史があり、都会からのアクセスが抜群に良い大阪柏原を舞台に、地元だけでなく大阪、奈良、愛知などから57名・団体が出展参加し、まちを流れる河川や駅前ロータリー、寺社などの屋外空間にも広がり、空き店舗、コミュニティ会館など20会場で開催しました。アフターコロナに向けて、アートを触媒に、「人」に着目し生活・地域・社会に生き方や考え方を「Anyアート」をコンセプトとすると共に、また「地域」の歴史特性を踏まえローカルな原点に回帰し「川Narra」をテーマに展示やインスタレーションなど多彩なアートの展開をめざしました。

「Anyアート」の具現化については、アーティストと一緒に子どもや大人のワークショップや、河川における市民参加型アートなど、地域の公共空間とアートの担い手の基盤拡張に向けた新たな取り組みを行い、また会場をめぐるクイズラリーも新たな試みとして、地域ならではの表情や風景を楽しむことをめざしましたが、まだ大きな広がりにはつながりませんでした。今後、かしわら芸術祭は、引き続き「Anyアート」を掲げ、地域と人々との関係性を深め、「アートを楽しむ」視点のもと「交流と連携」による新しい地域空間の創出をめざしていきます。

[会期]

10月21日(土) — 11月12日(日)

[展示部門(屋内)]

10月28日(土) — 11月5日(日)

10:00~17:00(初日は13:00から、最終日は16:00まで)

[パフォーマンス部門・アートイベント] 会期中の土・日・祝日のみ

会場 柏原市域内の全20会場

HIGHLIGHT 1

川Narra



「川をつなぐ」樋口尚

5 長瀬川 16 了意川 川を活かした街のアートの装い 参加型インスタレーション

柏原の街の中心を流れる二つの川、長瀬川・了意川(アクアロード柏原/平野川)の川をつなぐアート野外インスタレーション。欄干に付けられた赤と黄の布が川に映り、布を観る人が非日常を体験し、水の流れと布が観る人に新しい発見を与える、川を活かした人と自然のアート：野外アートと市民参加アート

「奇妙な生き物の生態」

身体領域#02 (鈴木 大翔/環や ゆかり) & 奥村俊彦 (音楽演奏)

5 長瀬川 パフォーマンス



「NOAH」嶋田ケンジ 15 JR柏原駅西ロータリー
時空に漂う舟群

川Narraゾーン 1 ヤマニシデンキ



そらをおよぐさかなをつくろう！
<ディレクター>U-KO 子どもワークショップ展示
未来に届けたいもの 段ボールアート・宙吊り



このとりさゆり
● 滝はやがて蝶が舞う川へ…羽を付けてちょうになろう！
キルト・インスタレーション



家近 まさかず
● カフェめぐり in かしわら



一樹(いつき)
● 大和変化(やまとへんげ) 一樹(いつき)
大和川を渡る近鉄大阪線や川から見える様々な景色を

川Narra かしわら芸術祭2023のテーマ

川はむかしから人の営みの中で生きづいており、時には荒れることもあるが、しかし私たちが豊かにしてきたことは事実です。川は海につながる導線であり、川は土や石と共に、人、モノなど共に、「文化」をも運びます。すなわち川の機能とは、流通の場、経済の場、コミュニケーションの場、文化の場との「交流とつながり」です。≪川Narra≫とは、川の価値を認識し、新しい価値を見出すことです。

川のもつ機能「交流とつながり」に目を向け、「時の川」の船着場＝柏原から「未来に対して私たちが届けるべきものは何か」を多面的な角度から考え、地域の再創生をめざします。

- ≪川Narra≫を象徴する現代の船：「シン・柏原舟」
- ≪川Narra≫を多面的な角度から探索する：光・風・かたち
- ≪川Narra≫を子どもの自由な表現力で生み出す世界：ヒトをつなげ動かし子どもの未来に伝える



「aqua no.05/aqua no.06」松田 真魚
8 市民プラザ

川Narraをテーマにした作品群

「川Narra」のテーマを意識させる作品の登場

- 時空に漂う舟群「NOAH」(嶋田 ケンジ)
- みんなでつくろう！でっかい飛行船を(松田 真魚ワークショップ)
- 川をつなぐ+：川を活かした街のアートの装い、風の川、川を彩る回廊(樋口 尚)
- デジタル大和川で遊ぼう：光の川(大阪芸大ArtScience)
- 空の下、みんなで描いたでっかい壁(ディレクターもっさんみいこ)
- そらをおよぐさかなを作ろう(U-KOワークショップ)
- 滝はやがて蝶が舞う川へ(このとりさゆり)
- 大和変化(やまとへんげ)一樹(いつき)
- My 川Narra作品展(2点)
- 水の泡を表現した「aqua」(松田 真魚)
- 水の都の物語(和田 誠之・濱 久仁子)参加型アート
- 宇宙の響きーしんこうー(もりたひよこ)「時空を旅する船」
- ドキドキわくわく！ワークショップDAY(もっさんみいこワークショップ)
- おえかきストリートや子どもエコマント＊パレード(かしわら環境会議共催)



HIGHLIGHT 2

Anyアート

「棉を飾る・並べる・ふれる・つながる」
イエロー・ライン・プロジェクト

7 今町老人会館

2019年「河内木綿 ときをこえて」、2021年「わたの日 収穫祭」、2023年「棉を飾る」。棉の根っこ、幹、朔、綿実、手紡ぎ糸、草木染め・・・たくさんのつながりを感じます



「ピュアー!! 無目的の美しさ!!」

川原書道教室／溪月

7 今町老人会館

純粹無垢で今の等身大の作品。「比べない、競わない」をベースに、丁寧に書くのは他者のため、美しく書くのは自身のためと伝えています。自らを愛し遠い先を見つめる前に、今の自分の存在やでできることに焦点を当てることに重きをおいています。

Anyアート

芸術祭という地域アートプロジェクトのめざす方向は、住民自らが地域や社会を新たな目線で見つめ、潜在する資源の発掘を通じて地域の歴史・文化・環境の持つ価値の発見、精神的な豊かさや新鮮な感動の創出、また新たな魅力の発信をする中で、「ヒト、コト、モノの交流」により地域の中から人々が生きがいや未来の展望を見つかることです。

そのため、<Anyアート>とは、日常的に(=いつでも)、場所を選ばず(=どこでも)、アーティストだけでなく、特に子どもや高齢者に着目(=だれでも)、道具や素材を選ばずエコな(=何でも)、を柱に底辺を広げるアート活動を展開し、アートの受容ネットワーク空間=文化的commons(誰もが自由に参加共有できる文化的な営みの総体)の構築をめざします。

Anyアートの三要素

Anyアートとしては、「いつでも どこでも だれでもアート」を理念にグループやインスタレーションに力点を置いた参加形態の追究と、地域空間・資源を生かすアート表現手法として次の三要素を最大限取り入れます。



● 参加型アート

「参加者もアーティスト」の考えに立つパラダイム転換をめざすアート



● エコアート

SDGsへの関心の高まりを背景に地域資源の活用や豊かな社会の構築への発展の可能性を生み出すアート



● インタラクティブアート

デジタル技術の活用で参加者の能動性が生み出す楽しむアート

参加型アート

Anyアートの三要素①

アーティストだけでなく、特に子どもや高齢者に着目=だれでもが表現する「参加者もアーティスト」の考えに立つパラダイム転換をめざすアート。

「Anyアート」参加型アート

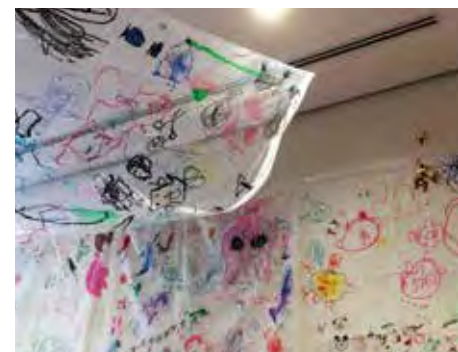
Anyアートの実現に向けて、アドバイザーを核にしたアートグループの組織化により、ワークショップ形式で具体化

- 川をつなぐ+：川を活かした街のアートの装い、風の川、川を彩る回廊 (樋口尚ディレクター)
- 空の下、みんなで描いたでっかい壁 キッズライブペイント (ディレクターもっさんみいこ)
- ドキドキわくわく！ワークショップDAY おえかきストリート (もっさんみいこワークショップ)
- TRIO Exhibition Workshop: COOL & HOT いい顔ワークショップ 「ポートレート イン かしわら」(講師：中澤てるゆき)
- でっかい壁にアニメをみんなであげよう！ Myアートworkshop (森山 陽介ディレクター)



HIGHLIGHT 3

参加型アート



ドキドキわくわく！ワークショップ DAY④ おえかきストリート 作品展
もっさんみいこディレクター 市民プラザなど各会場や地域に展示



そらをおよぶさかなをつくらう！子どもワークショップ③
U-KO ディレクター 未来に届けたいもの 段ボールアート



「みんなでつくろう！でっかい飛行船を」
子どもワークショップ②：松田 真魚ディレクター

HIGHLIGHT 4

エコアート



エアークッションアート



「滝はやがて蝶が舞う川へ...
羽を付けてちょうになろう!」
このとりさゆり

1 ヤマニシデンキ

キルト・インスタレーション:花ちょうちよと川岸の花
「コウノトリキルト」を飛び出し、ecoアートに挑戦。
地場産業のボタンT SUKASA 釦の廃棄処分の釦
穴に和布・浴衣・ネクタイなどを詰めて『花ちょう
ちよ』を表現。



廃品のワインコルクを用いた造形作品

「みんなで作ろう! でっかい飛行船を」
エアークッションアート(松田 真魚ディレクター)

エコアート Anyアートの三要素②

SDGsへの関心の高まりを背景に、道具や素材を選ばずエコな=何でも生かす地域資源の活用や豊かな社会の構築への発展可能性を生み出すアート。段ボールやエアークッションなどの廃材を活用したエコアート

- みんなで作ろう! でっかい飛行船を(松田 真魚ディレクター)
エアークッションアート
- 空を泳ぐさかなを作ろう(U-KOワークショップ)
段ボールアート
- 滝はやがて蝶が舞う川へ(このとりさゆり)
廃材再生アート

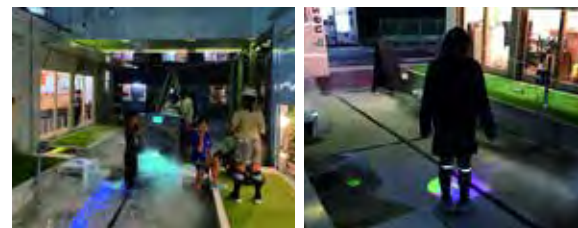
HIGHLIGHT 5

インタラクティブアート



インタラクティブアート Anyアートの三要素③

アートの魅力や面白さを拡張する新たなデジタル技術の活用で参加者の能動性が生み出す楽しむアート



「光の川」 Team Digital ArtScience

10 大正通りネスト デジタル大和川で遊ぼう

川から得たセンシングデータや多様な情報をもとに、古代から現代、未来へとつながる川の物語を体験するプロジェクションマッピングを活用したインタラクティブアート。

HIGHLIGHT 6

まちじゅうアート



「NEST SOIREE~アートと花火と大和川~」(11月4日)

芸術文化により人・場所・活動がつながっていく有機的なネットワーク「文化芸術 commons」の構築

アートを触媒に「いかす、つながる、めぐる」など「Any アート」を掲げ、地域と人々との関係性を深め、「アートを楽しむ」視点のもと「交流と連携」による新しい地域空間の創出をめざしていきます。そのため地域の人々が、自ら主体的に関わり、考え、理解し、行動する具体的な芸術文化のコミュニティ活動の場を広げます。

ハッピー連携

芸術祭の会期前から11月末までの間に開催する地域の活性化につながる事業と、広報活動などで相乗効果を生かし協力発展させていきます。

- 10/19 ~ 10/30 ギャラリー木苺(上市4) Art Collection M.Rose fashion planning if(冬服の展示会)
- 10/28 ~ 11/5 クレマチスなかじま(本郷2) ねんりん(日本刺繍・日本画・彫刻)
- 11/12 大正通りポケット・大正通りネスト 他(大正1) をかしわらマルシェ
- 11/13 ~ 11/17 市庁舎1階 第10回デイサービス作品展(介護保険デイサービス事業所連絡会)
- 11/19 文化センター3階(上市4) “どんな、こんな” 第22回ボランティア展
- 11/19 カタシモワイナリー本社・ぶどう畑・直売所・古民家 かたしもワイン祭り2023
- 11/25・26 根っこや(大正3) 根っこや感謝祭
- 11/26 リビエールホール 安藤忠雄講演会(柏原ライオンズクラブ創立60周年記念)

